

いばらきネットモニター  
茨城県の将来像と幸福についてのアンケート

1 調査の概要

(1) 調査形態

調査期間：平成29年11月16日（木）から平成29年11月29日（水）まで

調査方法：インターネットによる回答（アンケート専用フォームへの入力）

いばらきネットモニター数：748名（県内在住者のみ）

回答数：202名

回答率：27.0%

(2) 回答者の属性（百分率表示は小数点以下第二位を四捨五入しているため、個々の比率が100%にならない場合がある）

		回答者数	比率	
全体(n)		202	100%	
地域別	県北	18	8.9%	
	県央	73	36.1%	
	鹿行	15	7.4%	
	県南	65	32.2%	
	県西	31	15.3%	
性別	男性	103	51.0%	
	女性	99	49.0%	
性・年齢別	男性	16～19歳	0	0.0%
		20～29歳	3	1.5%
		30～39歳	12	5.9%
		40～49歳	21	10.4%
		50～59歳	14	6.9%
		60～69歳	26	12.9%
		70歳以上	27	13.4%
	女性	16～19歳	0	0.0%
		20～29歳	2	1.0%
		30～39歳	24	11.9%
		40～49歳	26	12.9%
		50～59歳	33	16.3%
		60～69歳	11	5.4%
		70歳以上	3	1.5%
職業別	自営業	14	6.9%	
	会社員	61	30.2%	
	団体職員	8	4.0%	
	公務員	4	2.0%	
	主婦・主夫	52	25.7%	
	学生	1	0.5%	
	無職	42	20.8%	
	その他	20	9.9%	

### (3) 調査目的

新たに策定を予定している茨城県総合計画では、基本理念として「活力があり、日本一県民が幸せな県」を掲げることとしており、計画策定の参考とするため、県民の幸福感及び県民の考える本県の将来像についての意見聴取を目的に実施したものである。

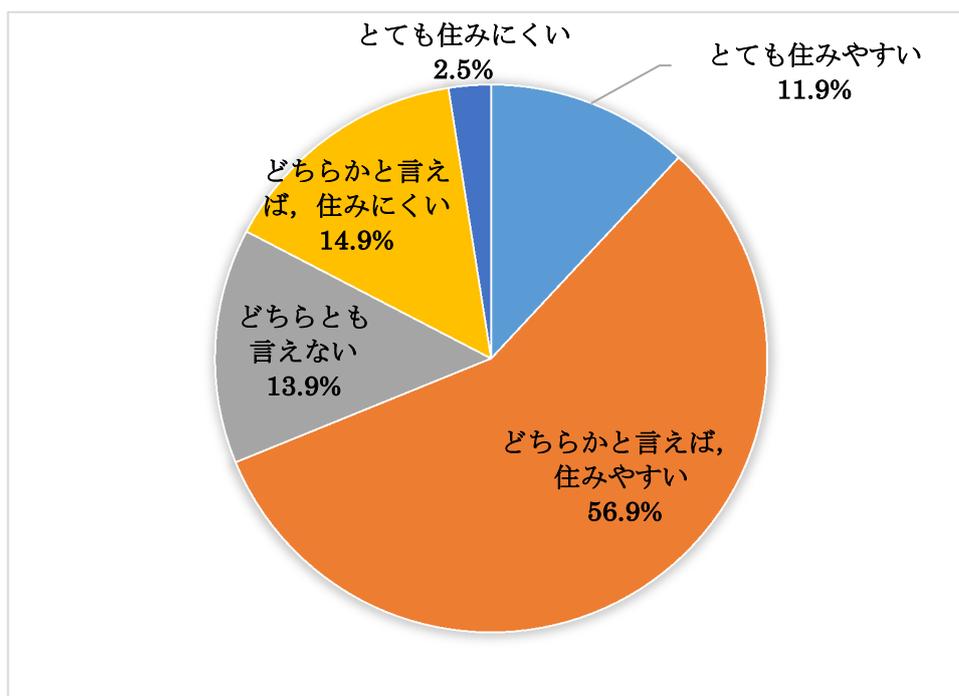
担当課 茨城県企画部企画課 政策・総合計画担当

電話：029-301-2523

E-MAIL：kikaku2@pref.ibaraki.lg.jp

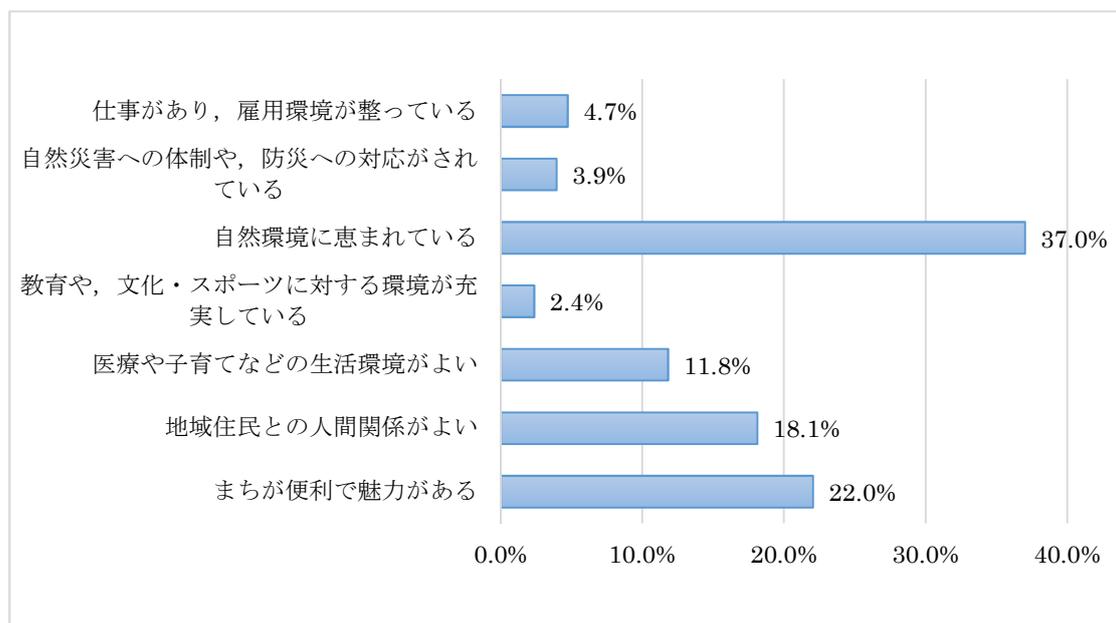
## 2 調査結果

問1 あなたの住んでいる地域は“住みやすい”ですか。



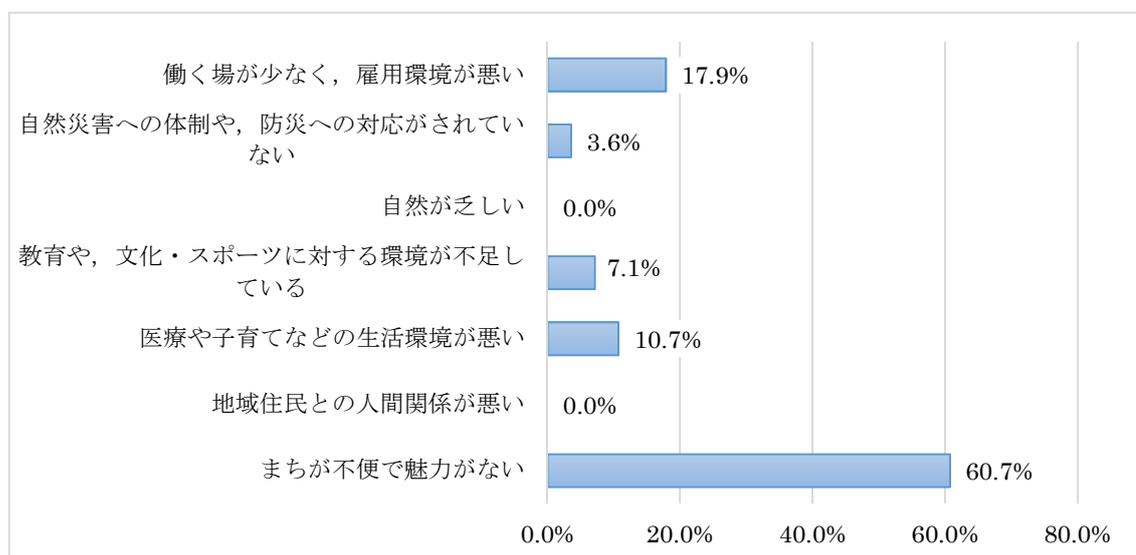
- ◆ 「とても住みやすい」(11.9%)と「どちらかと言えば、住みやすい」(56.9%)を合わせた“住みやすい”が、68.8%と全体の約7割を占めている。
- ◆ 「どちらかと言えば、住みにくい」(14.9%)と「とても住みにくい」(2.5%)を合わせた“住みにくい”が17.4%と全体の約2割という結果となった。

問2 (問1で「とても住みやすい」または「どちらかと言えば、住みやすい」と回答した方のみ) あなたが、「住みやすい」と感じる理由は何ですか。



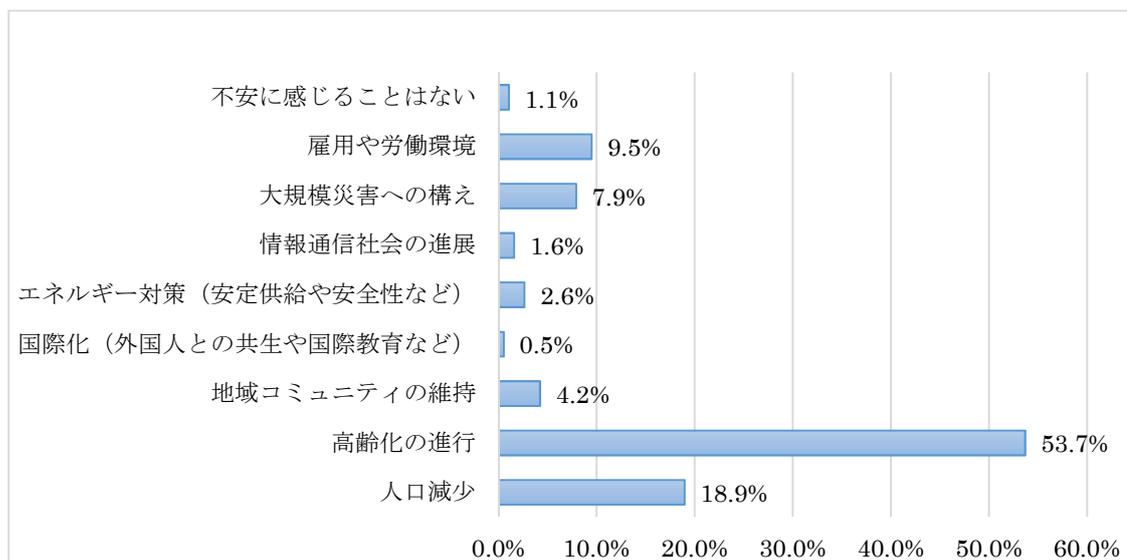
◆「自然環境に恵まれている」が37.0%と最も多く、次いで「まちが便利で魅力がある」が22.0%という結果となった。

問3 (問1で「どちらかと言えば、住みにくい」または「とても住みにくい」と回答した方のみ) あなたが、「住みにくい」と感じる理由は何ですか。



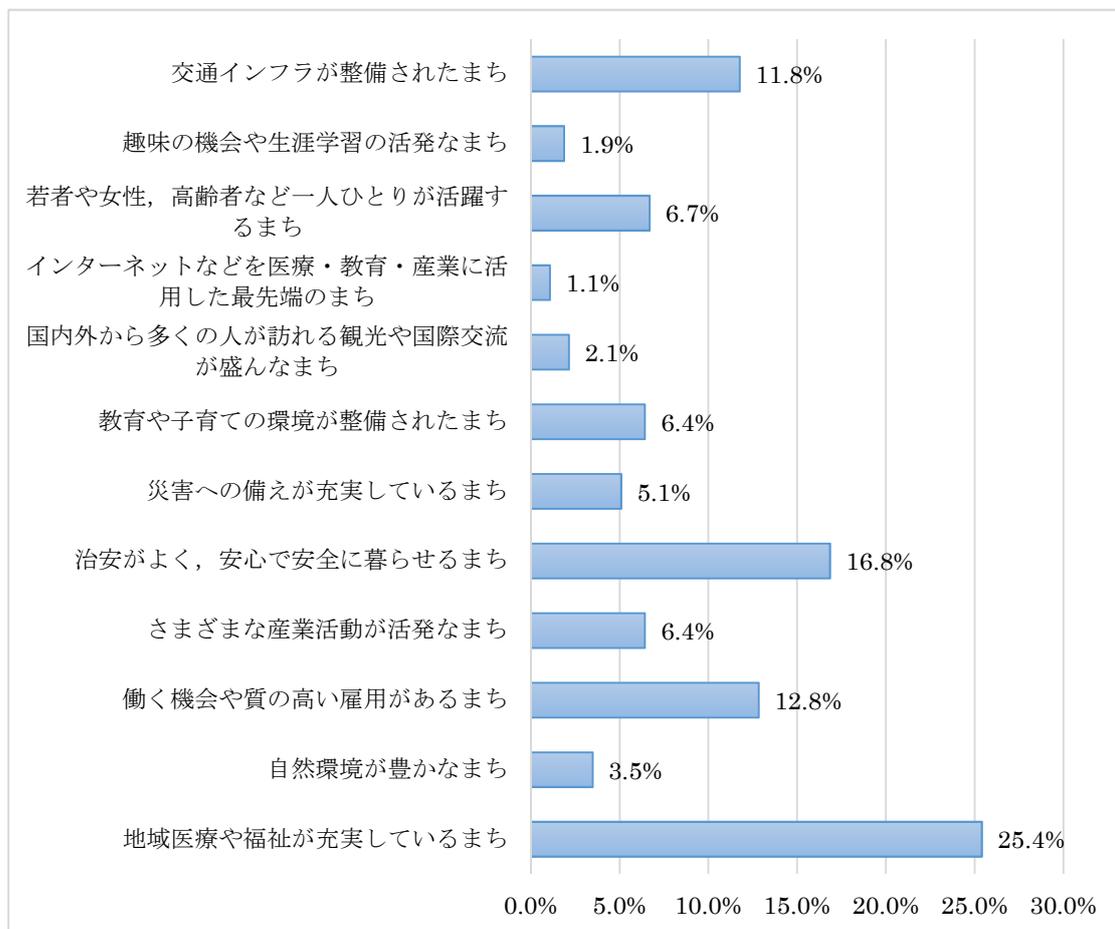
◆「まちが不便で魅力がない」が60.7%と最も多く、次いで「働く場が少なく、雇用環境が悪い」が17.9%という結果となった。

問4 茨城県を取り巻く社会環境は、今後も大きく変化していくことが予想されています。茨城県の今後について、あなたが不安に感じることはありますか。



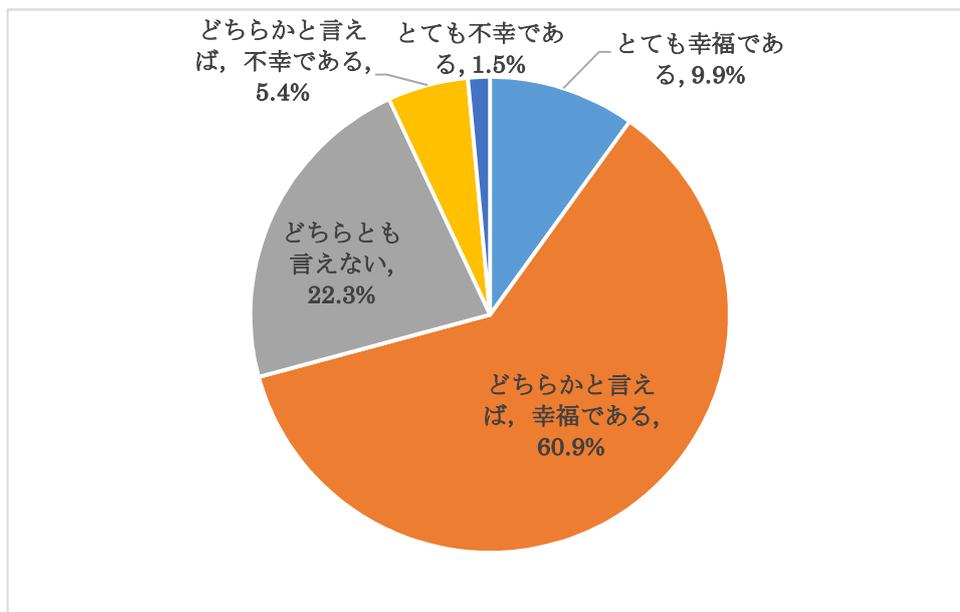
◆「高齢化の進行」が53.7%と最も多く、次いで「人口減少」が18.9%となり、少子高齢化の進行に不安を感じている結果となった。

問5 将来、あなたが住んでいるまちがどのような“まち”になることを期待しますか。  
(2つまで選択可)



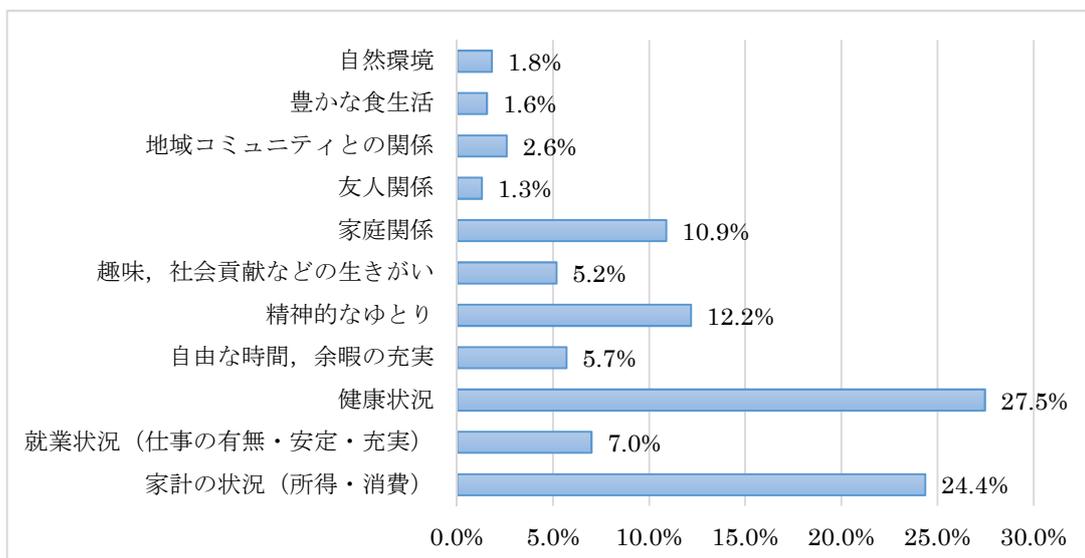
◆「地域医療や福祉が充実しているまち」が25.4%と最も多く、次いで「治安がよく、安心して安全に暮らせるまち」が16.8%という結果となった。

問6 現在のあなたの幸福度は、どれくらいですか。



- ◆「とても幸福である」(9.9%)と「どちらかと言えば、幸福である」(60.9%)を合わせた“幸福である”が、70.8%と全体の約7割を占めている。
- ◆「どちらかと言えば、不幸である」(5.4%)と「とても不幸である」(1.5%)を合わせた“不幸である”が6.9%と全体の1割未満という結果となった。

問7 あなたが、幸福感を判断する際に重視する事項は何ですか。(2つまで選択可)



- ◆「健康状況」が27.5%と最も多く、次いで「家計の状況(所得・消費)」が24.4%という結果となった。